

標題 | 揖屋干拓で排水対策施工を行いました！

(ダイジェスト)

管内の新規就農者の圃場では、排水性が一因のキャベツの生育障害が課題となっています。そこで、前年度作キャベツよりも収量増・高品質となることを目指し、圃場の排水性向上をはじめとした改良に取り組むこととし、今回は額縁明渠と圃場内の明渠を施工しました。

松江管内においてキャベツは主要な共販作目ですが、中海干拓揖屋地区で就農した新規就農者の圃場では、排水性が原因と思われるキャベツの生育不良による収量低下が課題となっています。昨年度より土壌調査や関係者との現地検討会を行い、収量向上のための対策を検討してきました。

そこで、(株)中四国クボタの協力のもと、額縁明渠や簡易暗渠等の施工により、排水性を改善し、揖屋干拓におけるキャベツの安定生産技術の実証を行うこととしました。

6月18日は、80aの圃場にリターンディッチャにより深さ約25cmの額縁明渠と圃場内の明渠の施工を行い、生産者と相談しながら排水の悪い部分を中心に計16本設置しました。今回の明渠は表面排水と圃場の乾燥促進を目的としており、土壌が十分に乾いてから7月下旬のキャベツ定植に向けた畝立作業までに、弾丸暗渠等の施工を行います。

今後は、降雨後の排水流量計測や定期的な土壌調査を行い、排水性の改善とキャベツの生育について検討する予定です。



【明渠の位置の相談】



【明渠の施工】